

第一部総合ジェンダー分科会（第24期第2回）議事要旨

日時 2018年2月27日 14:00～16:10

場所 日本学術会議大会議室

出席者 永瀬 伸子、和泉 ちえ、伊藤 公雄、井野瀬 久美恵、上田 貴子、後藤 弘子、本田 由紀、
吉田 克己、藤原 聖子

欠席者 大串 尚代、窪田 幸子、杉田 敦、巽 孝之、仲 真紀子、二神 枝保

参考人 青野 篤子(日本心理学会)、吉原 雅子(日本哲学会)

オブザーバー 天童 睦子(国際ジェンダー学会)、西田 小百合(地域デザイン学会)、渡邊 知映(日本がん看護学会)、坂田 桐子(日本社会心理学会)、保正 友子(日本社会福祉学会)、
安倍 澄子(日本農村生活学会)、粕谷 美砂子(日本農村生活学会)、白石 祐子(法と心理学会)、小方直幸(日本教育社会学会)、村田 晶子(日本社会教育学会)（順不同）

議事

- ・前回議事要旨（案）が確認された。

[報告事項]

1. ギースと分科会の関係について、永瀬委員長・後藤前委員長から説明がなされた。分科会はギースを支援する位置にあることが確認された。井野瀬委員から、24期中（2020年まで）にギースが組織として自立し、本分科会と両輪となる体制を作るという目標が示された。

[協議事項]

1. シンポジウムの内容について
 - ・「グッドプラクティス・課題」の部での報告を依頼する先の学会を決めた。
 - ・実態把握として、すべての加盟学会に、その学会の概要紹介を依頼することになった。
2. ギースの体制について
ギースの活動を本格化させるために、以下の点を中心に議論がなされた。
 - ・運営委員会の開催
 - ・役員等の選出や事務局を含む組織体制のあり方
 - ・規約制定
 - ・人文・社会科学系学協会の実態と課題共有のためのアンケート調査